

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E1421006		ソルフェージュ (Solfege)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
選択	1	3	教育学部	後学期	火4	日本語			単独						
担当 教員	氏名 清水 慶彦														
	E-mail shimizu-y@oita-u.ac.jp 内線 7388														
授業 の 概 要	「ソルフェージュ」の内容をふまえ、いわゆる「聴音」ならびに「視唱」の訓練をおこなう。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 楽譜の基礎など、音楽科教員として必要な素養を身につけ実践できる。															
目標2 旋律聴音ならびに和声聴音を実践し、正しく楽譜として記述できる。															
目標3															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
							各DPへの関連度(計10)		10						
授業の内容															
1 ソルフェージュとはなにか															
2 楽譜の書き方															
3 旋律聴音の実践(1) 平易な旋律															
4 旋律視唱の実施(1) 平易な旋律															
5 旋律聴音の実践(2) 実作品の旋律をもちいて															
6 旋律視唱の実施(2) 実作品の旋律をもちいて															
7 和声聴音の実践(1) 平易な和声進行															
8 平易な実作品をもちいた聴音の実施															
9 平易な実作品をもちいた視唱の実施															
10 ここまでのまとめと小テスト															
11 大譜表、スコア譜など、さまざまな楽譜の読み方															
12 実作品をもちいた聴音の実施(1) 借用・転調を含まない															
13 実作品をもちいた聴音の実施(2) 借用・転調を含む															
14 実作品をもちいた聴音の実施(3) さまざまな楽器による課題															
15 実作品をもちいた聴音の実施(4) 応用的な課題															
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認		実技・実演をともなう能動的修学。			工 夫 そ の 他 の									
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		音楽的能力の維持・発展のための日常的な練習(20h)												
	事後学修		視奏・視唱・聴音などの技術的問題の解決のための練習(25h)												
	想定時間合計		45												
教科書		授業中に資料を配布する。ただし、各自で五線紙を用意すること。													
参考書		授業中に適宜指示する。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
		授業中の課題	50%									
	授業中の小試験，試験等	50%										
	授業中の課題，小試験，試験等により総合的に評価。											
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											